

4. おわりに

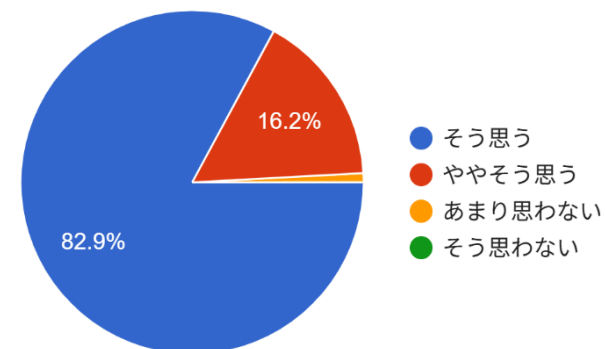
(1) 【成果】

- ・小グループで話し合うことで、活発な意見交流が可能となった。

アンケート調査 質問項目

「グループ討議が学びを深める機会となった」に対する

肯定的評価99.1% (そう思う82.9% ややそう思う16.2%)



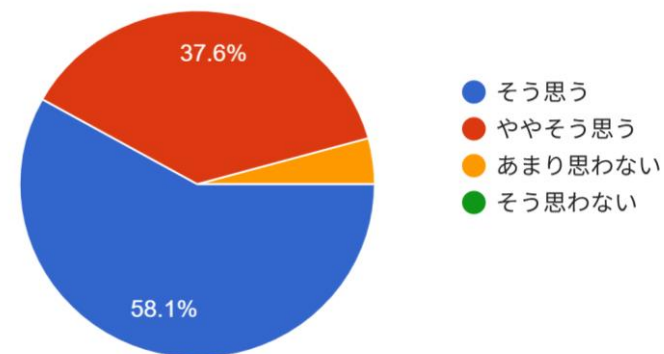
- ・研究を普段の指導に活かすことができた。

アンケート調査 質問項目

「自立活動実践シートに記入することで、

普段の指導支援に活かすことができた。」に対する

肯定的評価95.7% (そう思う58.1% ややそう思う37.6%)



(2) 【課題】

・ 自立活動の指導における各段階に依然として課題は残る

アンケート調査 質問項目

「今後の自立活動の指導に対して、不安なことがあればチェックしてください」

・ 指導内容の設定 (52.4%) ・ 目標設定 (44.7%) ・ 実態把握 (21.4%)

→ 自立活動の指導に何らかの不安を感じる教員が一定数在籍している

・ 全校研究、自立活動実践シートが無くとも 今後も継続して取り組む必要がある

アンケート 自由記述から

・ 実践シートに記入することで自分の行動や生徒の反応などを振り返る機会にはなった。

・ あまり意識せず日々対応していた。

・ 普段は忙しく、なかなか話をする機会がないので、（全校研究として時間が確保できて）良かった。

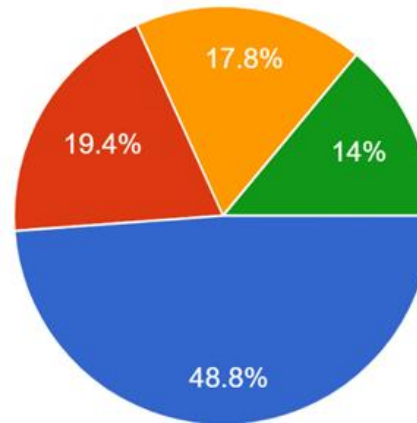
(3) 【SST活用について】

・研修を行ったことで、SSTを支援の選択肢にすることができた

アンケート調査 質問項目「対象の事例の支援でSSTを活用しましたか？」

- ・ 全校研究の前からSSTを取り入れていた (48.8%)
- ・ 全校研究を受けて、自分の支援がSSTであることを知った (19.4%)
- ・ 全校研究を受けて新たにSSTの支援を行った(17.8%)
- ・ SSTの支援は行わなかった (14%)

研修の結果新たにSSTを取り入れたり、自身の支援がSSTであることに気づいたりしたケースが37.2%であった
→80%以上の事例でSSTを取り入れた



- 全校研究の前からSSTを取り入れていた
- 全校研究を受けて、自分の支援がSSTであることを知った
- 全校研究を受けて新たにSSTの支援を行った
- SSTの支援は行わなかった

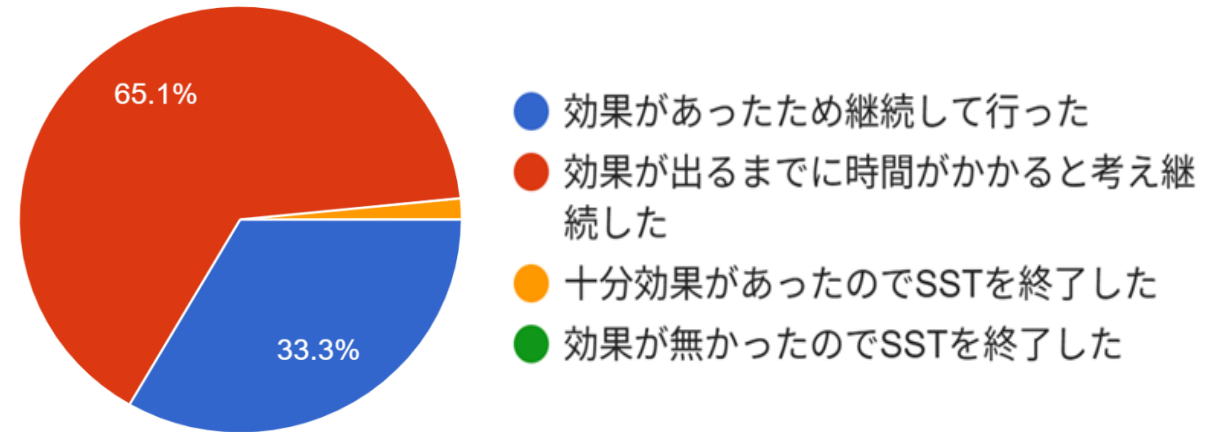
① 【SST活用 継続状況について】

○SSTを全校研究以前から取り入れていた事例の場合

アンケート調査 質問項目「そのSSTの支援は継続して行いましたか？」

- ・効果があったため継続して行った (33.3%)
- ・効果が出るまでに時間がかかると考え継続した (65.1%)
- ・十分効果があったのでSSTを終了した (1.6%)
- ・効果が無かったためSSTを終了した (0%)

全ての事例で効果を感じた または、
効果が出る可能性から
継続的にSSTが活用された。

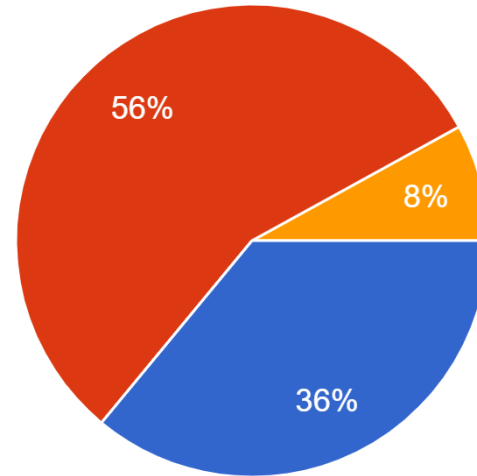


○全校研究を受けて、自分の支援がSSTであることを知った事例の場合

アンケート調査 質問項目「そのSSTの支援は継続して行いましたか？」

- ・効果があったため継続して行った（36%）
- ・効果が出るまでに時間がかかると考え継続した（56%）
- ・十分効果があったのでSSTを終了した（8%）
- ・効果が無かったためSSTを終了した（0%）

全ての事例で効果を感じたまたは、効果が出る可能性から継続的にSSTが活用された。



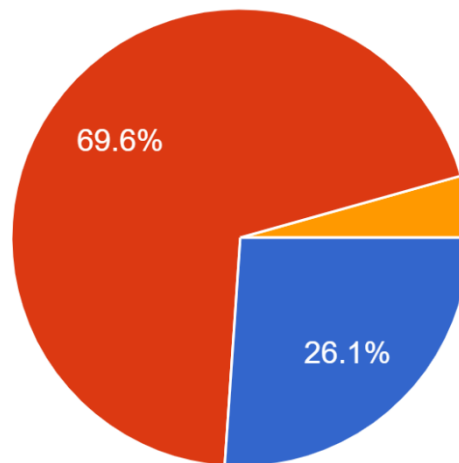
- 効果があったため継続して行った
- 効果が出るまでに時間がかかると考え継続した
- 十分効果があったのでSSTを終了した
- 効果が無かったためSSTを終了した

○全校研究を受けて新たにSSTの支援を行った事例の場合

アンケート調査 質問項目「そのSSTの支援は継続して行いましたか？」

- ・効果があったため継続して行った (26.1%)
- ・効果が出るまでに時間がかかると考え継続した (69.6%)
- ・十分効果があったのでSSTを終了した (4.3%)
- ・効果が無かったためSSTを終了した(0%)

全ての事例で効果を感じたまたは、効果が出る可能性から継続的にSSTが活用された。

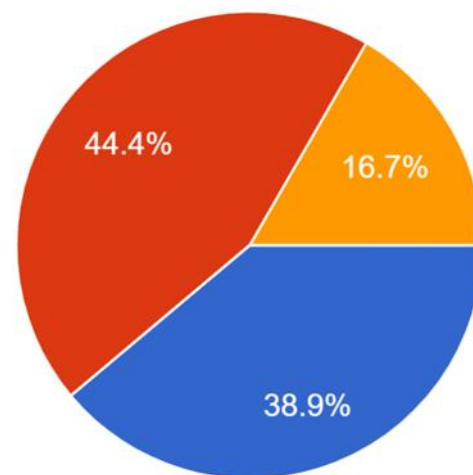


- 効果があったため継続して行った
- 効果が出るまでに時間がかかると考え継続した
- 十分効果があったのでSSTを終了した
- 効果が無かったためSSTを終了した

② 【SST活用 活用が難しかった事例について】

アンケート調査 質問項目「なぜ取り入れませんでしたか？」

- ・ SSTに適した事例ではなかった (38.9%)
- ・ 実施が難しかった (44.4%)
- ・ その他 (16.7%)



- SSTに適した事例ではなかった
- 実施が難しかった
- その他

自由記述より

- ・ 小学部の低学年には難しかった。
- ・ 児童生徒の言語理解が課題のため、実践できず。
- ・ 身体の動きに関わることが目標であるため、SSTは適さないと考えた。
- ・ 日常生活動作（更衣場面）獲得が目標かつ、対象児童がSSTの理解が難しく、実際に動きながら獲得していく必要があったため など

→対象児童生徒の実態、取り組む課題によってはSST以外の支援方法が選択された

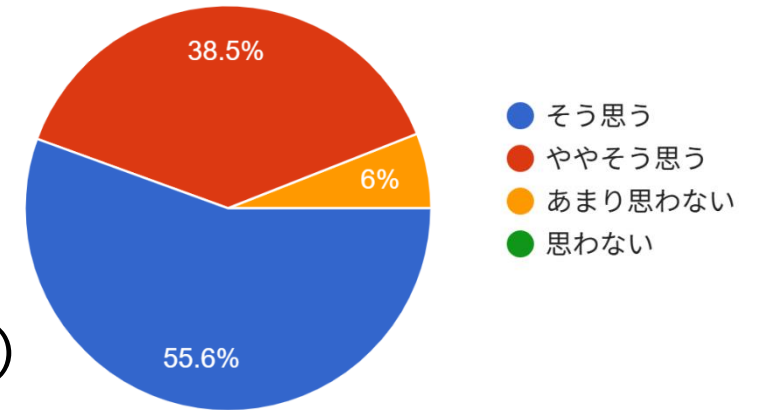
(4) 【今後について】

①今年度の成果を次年度以降の指導・支援につなげる

アンケート調査

「自立活動の指導において、今回の研究（グループ討議等）を今後の指導・支援に活かすことができる。」に対する

肯定的評価94.1%（そう思う55.6% ややそう思う38.5%）



②今年度の全校研究でできたことを次の指導・支援の充実につなげる

アンケート調査

「今回の研究を通して、できたことにチェックしてください」に対する回答結果（複数選択可）

- ・ 支援方法のアイデアが増えた (51.7%)
- ・ 支援方法を考える時の視点や方法が理解できた (50%)
- ・ 実態把握の視点や方法が理解できた (44%)

→ 実態把握の視点や支援方法のアイデアを次年度の支援や指導にいかしていく

③今回の自立活動実践シートを引継ぎ資料として活用する

アンケート調査 自由記述から

- ・ 今回のシートを次年度に引き継いでいけるようにしてほしい。
自活担当者が代わっても継続できるように。
- ・ 実践シートは折角の記録なので、残して引き継ぐのがよい
という話が出た。
- ・ 今回のシートを来年度の担任も参考にできるようにする。

→ 支援のアイデア集として校内でいつでも見られるようにデータを共有する
学校としての集合知・財産として継承し、広く発信していく

④本校の強みである話し合いができる学校風土を継承し、深めていく

アンケート調査「本校の相談・話し合いの体制」に対する回答結果（複数選択可）

- ・困った時は周りの教員に相談できる(80.5%)
- ・分からないことは周りの教員に質問することができる(77.9%)
- ・児童生徒について担任同士で普段から話すことができる(74.3%)
- ・児童生徒について学年団で普段から話すことができる(61.9%)

⑤校内の相談体制の周知徹底と利用促進が課題

アンケート調査「本校の相談・話し合いの体制」に対する回答結果（複数選択可）

- ・自立活動主任がいることを知っている(13.3%)
 - ・校内相談（CO.授業相談、専門家巡回等）を利用できることを知っている(41.6%)
- 身近な同僚と積極的に相談しながら支援を進め、校内外のリソースを活用していく